

岩日タイムズ

発行者

岩瀬日本大学
高等学校
ソーシャルメディア部

海老澤麻佑

舞台から元気届ける



安達さんのインタビューの様子

「夢は見るものでなく叶えるもの」

安達勇人さんインタビュー

7月9日、水戸芸術館で安達勇人さんの取材が行われた。安達さんは本校出身で、現在は声優、俳優、アーティストとして活動している。

な活動を行っている。水戸芸術館ACM劇場では、7月31日(土)と8月1日(日)に「目指せ『ミュージカル水戸黄門?』」が上演される。



てきた。

「生ライブなどが無くなってしまい、お客さんの生の拍手や表情を見ることができなくなってしまう。けれども、僕たちが止まったら、みんなが止まってしまふという責任感を改めて感じ、活動を続けてきた」

コロナ禍で辛い時であるからこそ、自らの仕事に責任を持ち、前に進む姿勢が印象的だった。

そのような中で制作された「目指せ『ミュージカル水戸黄門?』」は魅力的な作品に仕上がっているに違いない。より多くの人が足を運ぶことが期待される。

この公演を見にきてくれたお客さんの背中を押してあげたい、という安達さんの強い思いが伝わっ

「生ライブなどが無くなってしまい、お客さんの生の拍手や表情を見ることができなくなってしまう。けれども、僕たちが止まったら、みんなが止まってしまふという責任感を改めて感じ、活動を続けてきた」

母校である岩瀬日大についても話を聞くことができた。

在学中、剣道部に所属していた安達さんが、俳優の世界に入ろうと思ったきっかけとなったのが、顧問の齊藤先生の激励だったという。

「一生に一度の人生なんだから、後悔しないように好きなことをやれ」

恩師の言葉が、悩んでいた自分の背中を押してくれた。

「岩日に行っていないかったら、今の自分はなかったかもしれない」

その後、3年の担任だった長田先生が見守ってくれたことも、安達さんの大きな支えになったという。

編集後記

夢に向かって進んでいる今だからこそ、悩むことや苦しむこともあると思う。しかし、失敗を恐れずにかし、行動を起こすことが大切なのではないだろうか。先輩のメッセージを胸に、私たちは未来に突き進んで行きたいと思う。安達さんの今後の目標は、茨城で数万人規模のフェスを開催すること。地元茨城でその夢が叶う日が来ることを願っている。

今回の取材では、「目指せ『ミュージカル水戸黄門?』」の見どころはもちろん、安達さんの明るく前向きな人柄が感じられた。その先へ向かって歩み続ける安達さんの姿を見て自分までもが元氣をもらえた。同じ「岩日出身」として、私たちソーシャルメディア部も学校や地元の魅力発信していきたい。(海老澤)